NEWS RELEASE

2012 年 7 月 25 日

ニチダイと NTT データエンジニアリングシステムズのパートナーシップについて

～「熟練者の技術伝承をデジタル化し、鍛造技術のグローバル対応と人材育成を実現」～
～「精密鍛造金型設計ナビゲーションシステム」の構築～

株式会社ニチダイ
株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズ

株式会社ニチダイと、株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズ（略称：NDES）は、2012 年 7 月 25 日より、共同で「精密鍛造金型設計ナビゲーションシステム」の構築に取り組んでいくことを基本合意いたしました。

本システムは、半世紀以上に渡って精密鍛造部品およびその金型を開発してきたニチダイが保有する、高度なネットシェイプ鍛造および金型製造技術と、NDES が販売・サポートを行うメタルフォーミングプロセスシミュレーションシステム「simufact.forming」、および 30 年に渡って培われた CAE 利用技術の融合により実現するものです。

最先端の鍛造工程設計、金型設計における CAE の利用技術（ノウハウ）を標準化して盛り込んだ本システムは、グローバル化が加速する鍛造業界における熟練者の技術伝承をデジタル化し、海外拠点での鍛造技術を用いた素形材づくりの実現と、人材育成に貢献することを目的としています。

【背景】

塑性加工の現場では、被加工材の成形不良、金型・工具の早期の破損などで、製品や型の開発コスト増大の問題を常に抱えています。このような問題に対して従来は、塑性加工技術の熟練者の勘と経験に基づいて解決方法を模索するケースが一般的でした。しかし近年は「ネットシェイプ」が盛んに叫ばれるようになったことに伴い、金型の構造の多様化や複雑化を招き、熟練者の経験のみでは解決が難しい事例も多々発生しています。

塑性加工の現場では、こうした諸問題を工程設計の初期段階で解決し、さらにコスト削減や製品・金型品質向上を図る手段として、CAE が一般的に活用されており、いまやその利用は不可欠な存在になっています。

しかしその一方で、CAE をただ利用するだけでは、これらを解決へと導くことが困難であることも明らかになっています。計算結果を評価するためには、正確度の高い計算を行う技術と、計算結果として出力される膨大なデータから必要な情報を抽出する技術が必須です。そのためには確固たる根拠に基づいた技術的背景の理解も不可欠です。

NDES が販売・サポートを行う CAE ソフトウェア「simufact.forming」は、近年のグラフィカルユーザインターフェイスのユーザビリティの向上にともない、特別な知識を必要とすることなく使うことができる「メタルフォーミングプロセスシミュレーションシステム」へと進化しています。このことにより、誰もが簡単に計算結果を得られるようになりましたが、それを評価する技術が確立していないことから、CAE の本来の目的である、開発コスト削減や製品・金型品質向上へは、十分には至っていないのが現状です。

このような背景のもと、塑性加工業界で世界レベルの実績をもつニチダイと、日本の生産現場における豊富な経験とノウハウをベースとして、さまざまな IT ソリューションを提供してきた NDES が、このたびパートナーシップを結ぶこととなりました。

両社の協業は、高度な現場の鍛造・金型技術と IT の融合を実現し、simufact.forming を利用した鍛造工程設計および解析技術の確立を加速します。

これらの継続的な活動をとおして、精密鍛造金型設計ナビゲーションシステムの構築を目指しています。

本件に関するお問い合わせ先
〒610-0341 京都府京田辺市薪北町田 13
株式会社ニチダイ　経営企画室　TEL：0774-62-3481
〒144-8601 東京都大田区西蒲田 7-37-10 ラウンドクロス蒲田
株式会社 NTT データエンジニアリングシステムズ　管理統括部　広報グループ　TEL：03-5711-5311

【今後の予定】
ニチダイとNDESは、2012年7月から共同でシステム構築に着手し、段階的に対象製品と設計項目を拡充しながら、3か年でニチダイの設計ノウハウとsimufact.formingをインテグレーションします。

この活動を通じて、両社は、simufact.forming のライセンス販売を、3年間累計で100本見込んでいます。

【株式会社ニチダイ】
株式会社 ニチダイ、およびニチダイグループは、「他社ではできない製品と、他社の追随を許さない高い技術力」を追求するオンリーワン企業を目指して、主に自動車部品製作に使用される精密鍛造金型の開発、製造、販売、および精密鍛造品の量産を行う「ネットシェイプ事業」、独自技術によるターボチャージャー部品のアッセンブリ（組み立て）を行う「アッセンブリ事業」、食品・医薬品業界、石油化学・原子力プラント、H-IIAロケットなどに使用される焼結金網フィルターの開発、製造を担う「フィルタ事業」に取り組んでいます。
いずれの事業においても、独自性をもった高付加価値製品の創造を追求しており、同社が推進する金属部品のネットシェイプ化やフィルター製品は、近年関心が高まる環境保全にも貢献しています。
また、北米と経済成長著しいタイに海外拠点を設立、3事業すべてにおいてグローバル展開の基盤を確立しており、国際競争力の強化にも積極的に取り組んでいます。

【株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズ】
株式会社 NTT データエンジニアリングシステムズは、『ものづくり分野のお客様の未来を IT で支援します。』を合い言葉に、CAD/CAM/CAE など製造業の情報化に欠かせないプロダクトの販売と、「ものづくり」の多様な要求にあわせたカスタマイズとインテグレーションの提供、さらに企業の人的資源、物的資源、資金など経営資源の戦略的運用にむけた仕組みづくりで、ものづくり分野のお客様の情報化を支援しています。

【メタルフォーミングプロセスシミュレーションシステム simufact.forming】
simufact.forming は、ドイツ・ハンブルグに本社を置く simufact engineering gmbh（以下 simufact 社）が開発した、多種多様な塑性加工の計算・解析を扱うことができる「メタルフォーミングプロセスシミュレーションシステム」です。世界において300以上のリーディングカンパニーが利用しています。
simufact 社の Managing Director, CEO である Michael Wohlmuth 氏は、2012 年 7 月 19 日、以下のように述べています。「NDES は simufact 社にとって長年のビジネスパートナーであり、ニチダイはとても重要なユーザである。この両社、すなわち 30 年以上にわたって日本の製造業のIT化を支えてきた経験とシステム開発能力をもつ NDES と、半世紀以上に渡って精密鍛造部品およびその金型を開発してきたニチダイのアライアンスは、とても良いニュースだ。このアライアンスは、両社の協力関係をより強固にし、鍛造業界のより効率的な技術伝承を可能にするとともに、日本の鍛造業界の世界進出を加速させるだろう。アライアンスのコア技術である simufact.forming は必ず、このアライアンスをよいものへとすることを確信している。simufact 社としても、今回のアライアンスを歓迎するとともに、最大限の協力を惜しまない。」

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ＮＴＴデータエンジニアリングシステムズ

■ 報道関係のお問い合わせ先 株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズ 管理統括部　総務部　広報グループ 担当：山本　Tel：03-5711-5311	■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先 株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズ 製造ソリューション事業本部 企画部　営業企画グループ 担当：鈴木　Tel：03-5711-5320

株式会社ニチダイ

■ 報道関係のお問い合わせ先 株式会社ニチダイ 経営企画室 担当：紺野　Tel：0774-62-3481	■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先 株式会社ニチダイ ネットシェイプ事業　技術開発本部　開発 G 担当：濱家　Tel：0774-88-6311